



2021年8月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月12日

上場会社名 マニー株式会社
 コード番号 7730 URL <http://www.mani.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 齊藤 雅彦
 問合せ先責任者 (役職名) 代表執行役副社長 (氏名) 高橋 一夫
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 028-667-1811

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第1四半期の連結業績(2020年9月1日～2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第1四半期	4,199	3.4	1,403	0.1	1,271	19.5	984	6.3
2020年8月期第1四半期	4,345	9.5	1,401	11.8	1,578	5.3	1,050	66.0

(注) 包括利益 2021年8月期第1四半期 798百万円 (48.5%) 2020年8月期第1四半期 1,548百万円 (17.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第1四半期	10.00	
2020年8月期第1四半期	10.67	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第1四半期	39,233	36,282	92.5
2020年8月期	39,289	36,566	93.1

(参考) 自己資本 2021年8月期第1四半期 36,282百万円 2020年8月期 36,566百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期		11.00		11.00	22.00
2021年8月期					
2021年8月期(予想)		11.00		12.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日～2021年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,001	5.6	2,316	16.7	2,226	26.1	1,540	33.2	15.65
通期	17,542	15.4	5,643	30.0	5,462	23.5	3,784	13.7	38.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年8月期1Q	106,911,000 株	2020年8月期	106,911,000 株
期末自己株式数	2021年8月期1Q	8,484,435 株	2020年8月期	8,484,435 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年8月期1Q	98,426,565 株	2020年8月期1Q	98,426,565 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的大流行に伴う経済活動の制限及びそれに伴う景気悪化、米国大統領選挙が世界経済へ与える影響等により不透明感が高まっております。また、日本経済におきましても、菅内閣の発足による経済活動進展への期待や企業業績への前向きな評価がある一方で、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により景気が足元で大幅に下押しされ、依然として困難な状況で推移しております。

このような環境下、当社グループにおきましては、需要の拡大が見込まれる海外販売拠点を中心に、Webを活用した医師向けセミナーの開催やディーラーへの製品紹介を積極的に実施することでマーケティング強化を図り、デンタル関連製品は、中国の売上が牽引し増収となりました。一方、サージカル関連製品並びにアイレス針関連製品においては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により病院での手術が制限されたこと等が影響し、全体としては減収となりました。

生産面については、主力工場であるベトナム工場において、地域が掲げる新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の徹底した罹患リスク対策を遵守することで、工場内で感染者を発生させることなく生産活動を継続してまいりました。また、本社・海外生産拠点間での渡航が制限される中、オンラインを通して現状の課題、対応策についてタイムリーに情報交換することで生産の効率化及び生産技術の向上に努めてまいりました。

開発面においては、開発テーマのさらなる「選択と集中」を目標に掲げ、将来性を見込める開発テーマを厳選し、最優先テーマへリソースを集中することで効率的かつ効果的な開発を目指す体制を整えてまいりました。また、開発者同士がセグメントの枠を越え、技術交流・設備の共有化を図ることで「世界一の品質」を実現・維持するための新製品開発並びに改良研究体制を引き続き強化してまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,199百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益は販売費及び一般管理費の減少により1,403百万円（同0.1%増）、経常利益は営業利益が増加したものの為替差益が前年同期より減少したこと等により1,271百万円（同19.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は経常利益が減少した一方、投資有価証券売却益が増加したこと等により984百万円（同6.3%減）となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。また、当第1四半期連結会計期間から業績管理区分の見直しにより、従来「サージカル関連製品」、「デンタル関連製品」に含まれておりました針付縫合糸について、「アイレス針関連製品」に変更しております。そのため以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後の区分に組み替えた数値で比較しております。

(サージカル関連製品)

品質評価の高い眼科ナイフの売上が中国で好調に推移した一方、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大により手術が制限されたことに伴い、特に国内、欧州での売上が低調に推移したことから、売上高は1,152百万円（前年同期比7.6%減）となりました。売上高が減少した一方、前年同期に発生したベトナム工場火災による生産非効率性が解消されたこと等により、セグメント利益（営業利益）は396百万円（同6.0%増）となりました。

(アイレス針関連製品)

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により病院での手術が制限されたこと並びに海外大口顧客の在庫調整の影響に伴い、売上高は1,158百万円（前年同期比18.7%減）となりました。また、売上高が減少したこと等から、セグメント利益（営業利益）は396百万円（同23.7%減）となりました。

(デンタル関連製品)

世界規模で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を受けたものの、比較的回復の早い中国でダイヤパー並びにリーマ・ファイルの売上が伸長したことから、売上高は1,889百万円（前年同期比12.8%増）となりました。また、売上高が増加したこと等から、セグメント利益（営業利益）は610百万円（同20.3%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ56百万円減少し、39,233百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が増加した一方、商品及び製品が減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ228百万円増加し、2,951百万円となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれる未払費用が増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ284百万円減少し、36,282百万円となりました。これは主に、利益剰余金及び為替換算調整勘定が減少したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、「（1）経営成績に関する説明」のとおりであります。通期の連結業績予想につきましては、2020年10月9日の「2020年8月期 決算短信」で公表いたしました数値に現時点で変更はありませんが、国内外における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の状況を注視してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,175	17,376
受取手形及び売掛金	1,577	1,941
商品及び製品	951	791
仕掛品	3,891	3,908
原材料及び貯蔵品	1,801	1,780
その他	790	732
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	26,186	26,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,820	3,730
機械装置及び運搬具(純額)	4,615	4,436
土地	1,132	1,132
その他(純額)	846	942
有形固定資産合計	10,415	10,243
無形固定資産		
のれん	166	141
ソフトウェア	20	21
その他	733	747
無形固定資産合計	920	910
投資その他の資産		
投資有価証券	1,311	1,113
繰延税金資産	255	238
保険積立金	183	183
その他	16	16
投資その他の資産合計	1,767	1,551
固定資産合計	13,103	12,705
資産合計	39,289	39,233

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	149	148
未払金	430	332
リース債務	44	40
未払法人税等	309	349
賞与引当金	441	345
火災損失引当金	98	97
その他	453	854
流動負債合計	1,928	2,167
固定負債		
リース債務	17	9
役員退職慰労引当金	92	90
退職給付に係る負債	536	537
資産除去債務	114	111
その他	33	34
固定負債合計	794	784
負債合計	2,723	2,951
純資産の部		
株主資本		
資本金	988	988
資本剰余金	1,036	1,036
利益剰余金	37,624	37,526
自己株式	△3,125	△3,125
株主資本合計	36,524	36,426
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112	37
為替換算調整勘定	△7	△121
退職給付に係る調整累計額	△61	△59
その他の包括利益累計額合計	42	△143
純資産合計	36,566	36,282
負債純資産合計	39,289	39,233

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
売上高	4,345	4,199
売上原価	1,460	1,462
売上総利益	2,885	2,737
販売費及び一般管理費	1,483	1,333
営業利益	1,401	1,403
営業外収益		
受取利息	23	14
受取配当金	6	1
為替差益	146	—
その他	4	4
営業外収益合計	181	21
営業外費用		
支払利息	0	0
シンジケートローン手数料	—	0
持分法による投資損失	3	13
為替差損	—	57
自宅待機時休業補償等	—	58
その他	0	23
営業外費用合計	4	154
経常利益	1,578	1,271
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	1	107
受取保険金	13	—
特別利益合計	14	107
特別損失		
固定資産除却損	0	0
役員退職慰労金	—	0
火災損失	104	—
特別損失合計	104	0
税金等調整前四半期純利益	1,488	1,377
法人税、住民税及び事業税	260	344
法人税等調整額	177	48
法人税等合計	438	393
四半期純利益	1,050	984
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,050	984

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	1,050	984
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	149	△74
為替換算調整勘定	334	△118
退職給付に係る調整額	5	2
持分法適用会社に対する持分相当額	8	4
その他の包括利益合計	498	△185
四半期包括利益	1,548	798
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,548	798

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年9月1日至2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	1,246	1,424	1,674	4,345	-	4,345
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	0	-	0	△0	-
計	1,246	1,424	1,674	4,345	△0	4,345
セグメント利益	373	520	507	1,401	-	1,401

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年9月1日至2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	1,152	1,158	1,889	4,199	-	4,199
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	0	-	0	△0	-
計	1,152	1,158	1,889	4,200	△0	4,199
セグメント利益	396	396	610	1,403	-	1,403

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から業績管理区分の見直しにより、従来「サージカル関連製品」、「デンタル関連製品」に含まれておりました針付縫合糸について、「アイレス針関連製品」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。